（別紙4（2））

事業所名　グループホーム花みずき

作成日：　令和　1年　10月　26日

目標達成計画

目標達成計画は、**自己評価及び外部評価結果をもとに**職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	家族の希望、職員の思いで終末期ケアを行っているが、利用者の状況を踏まえ、ケアの方針が共有しにくい。	・入居時からの家族の希望があり、利用者本人の状況からグループホームでできる限りのケアが行い、職員間、医療・家族と連携してその人らしい最期を迎えてあげたい。	・利用者の現状を職員がしっかり把握し、その人に合った負担のかからないケアを考えて実践する。 ・看護師、主治医と相談し受診しなくても必要な検査、薬の処方ができるように調整を行う。 ・家族の不安・心配を配慮し写真等を定期的に送る。 ・寝たきりでも食事やおやつが皆さんと一緒に食べれる。	6ヶ月
2	26	サービス計画作成における本人、家族、職員の話し合いの機会が少ない。	・モニタリングは毎月担当職員が行い、家族連絡表で郵送している。 ・ケアプランを作成する際、話し合いの機会を作る。	・個々のケアプランの中のケア内容の評価を家族連絡表に記入し、行事等での様子や写真を入れて郵送し、日々の様子を理解視してもらう。 ・面会を兼ねて話し合いの機会を作るように計画し、意見やアイデアの盛り込めた介護計画にする。 ・担当職員以外の職員でも家族への伝達、意見や要望が聞けるようにする。	12ヶ月
3	27	新人職員、パート職員が多く、個別記録の記入内容が徹底できていない。 介護計画を有効に活用できていない。	・ミーティング等で介護計画書について習得でき、利用者さんのより良く生活ができるための課題やケア内容について話し合いができ実践できる。	・個人ファイルの置き場を検討し、職員が把握でき、意識が高まりケアの実践に繋がるように指導する。 ・再度、介護計画書の把握ができるようにケアマネが説明し毎日の介護記録に反映できるような内容の検討を行う。	12ヶ月
4	13	職員間のケアの実際と力量のギャップがあり、働きながらのトレーニングが難しい。	・新規採用時等経験年数に応じた研修の機会を作る。 ・職員間の風通しが良く、コミュニケーションが図れる。	・具体的な研修計画を立て、上司の了解を得る。 ・ケア内容や困ったことなど、お互い助言をしたり、気づかせてあげるようにする。	12ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。